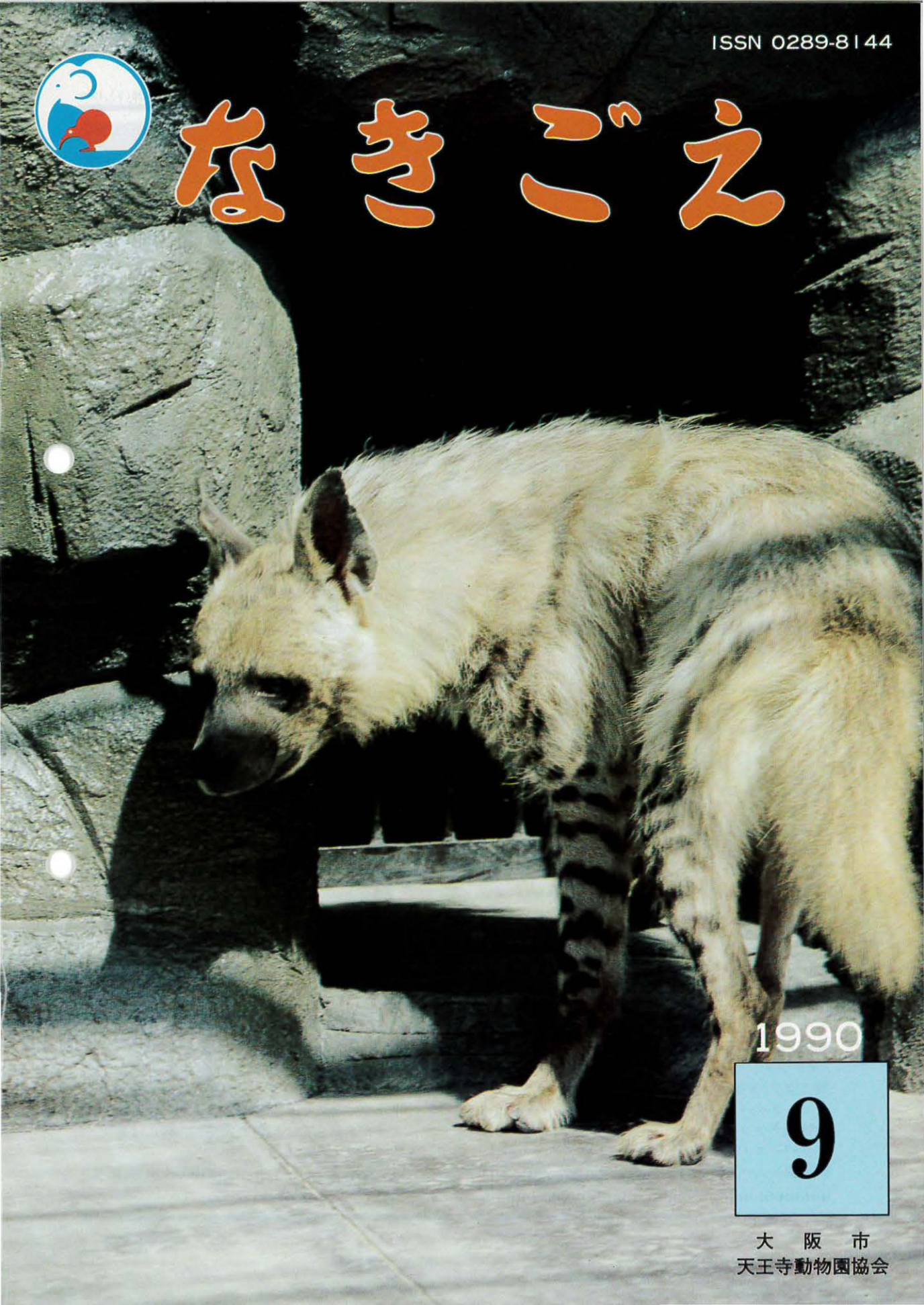




なきごえ



1990

9

大阪市
天王寺動物園協会



名護自然動植物公園

石井 力

今から22年前の1967年は野生動物との出会いと云う意味では私にとって忘れられない年である。と云うのは、この年の11月にアフリカのマダガスカルに出かけ中西部の海岸線から約80キロ程の内陸部の森で、あの原猿類のレムール(キツネザル科)やシファカ(インドリ科)にお目にかかることができた年だったからである。

ひょんな事から大学のマダガスカル学術調査隊の一員に加えさせていただく機会を得、総勢7名でそろそろ寒くなり始めた11月25日に羽田を立ち、ボンベイ経由、ケニアのナイロビに2泊、28日、島のほぼ中央部、海拔1,500メートルの高原の首都タナナリブの日射は強いが乾燥した爽やかな風が吹き抜けるイヴアトウ空港に降り立った。

早速インド洋に面した東海岸の港町タマタブまで、先に送った車3台、調査器材、食糧品等を受け取りに出かけ、私共が約100日間、滞在中の基地とした、当時はフランスの海外科学技術研究局が運営していたチンバザ動物園の宿泊施設まで約350キロの国道1号線を14時間かけて運び、調査行の準備万端整ったのは12月3日だった。

マダガスカルは島とは云え大変大きな国で、面積59万平方キロ、日本の約1.7倍もあり、全長1,580キロ、最大幅580キロもある。このため調査隊の探査ポイントも約3ヶ月という限られた期間を考慮し、この時は中部~中南部の高原地帯、南東~南西部海岸線の乾燥地帯、そして中西部の国道線沿いの3地点の動植物相を主に調査することとなった。

小手調べ的調査を中部高原の植物を中心に行い、さて、いよいよ中西部の森の原猿類を見に出かけることになった。この森は首都から約450キロのアンカラファンチカと呼ばれる所で、政府の森林事務所がある。

12月22日に出発し一路国道を西へ。途中一泊し翌

日の朝、森林事務所に到着した。

この森は森林規模としては中西部最大で、国道を挟むかたちで幅25キロ、全長100キロ位にわたって横たわっており、マンゴーやキワタ等の高木が生い茂っている。この森だけで3科5属6種それに数亜種のサルたちが棲んでいる。到着した日は35度を越す暑さに生理的機能がついていけず、いくら水分を補給しても夕液が全く出ないといった状態で観察は翌朝からということになった。

24日は5時に起床、事務所敷地内にある借用した山小屋の寝袋を抜け出し、裏手の森に入った。5時30分、最初のグループ、マングースレムールの4頭が1頭の子供を連れて何処からともなく木を渡ってやってきた。時折マンゴーの葉を食べたりしながら、やがて20分位の間に何処へともなく姿を消していった。

6時にはシファカ(Propithecus verreauxi coquereli)の6頭の集団が現われる。この連中は好奇心旺盛で、私が300ミリの望遠レンズで夢中でシャッターを切っていたら、何んと僅か3メートルの至近まで降りてきて怪訝そうな顔をして、こちらを観察していた。私が居たせいか約1時間程は葉っぱを食べたり、木に登り降りしていたが、その内レムール同様移動して行ってしまった。この後は全く現われないので観察を中断、昼頃一旦森に戻ってみると8メートル位の高木の枝の又の部分でカッシュクレムールが腹ばいになって昼寝をしていた。夕方5時頃に朝の2グループが30分位の間隔をあけて逆方向から戻ってきて、朝来た方向に立去って行った。

実に見事な棲み分けの事実を目の当りにすることが出来たのである。

夜になると事務所の中庭の広場から、周囲が熱帯高木で覆われているから、広場部だけポッカーリと星空が見られる。懐中電灯で囲りの木々を照らしていると、ピカッと2つの目が光った。コビトレムールかネズミレムールのどちらかだろうが判別はできなかった。

森は日中とは違って気温も随分下がり、熱帯独特のかすかに甘い感じの一寸重い空気がゆったりと抜けて行く。自然の中で全く贅沢なクリスマス・イブを迎えたのだった。

(名護自然動植物公園公園部長)

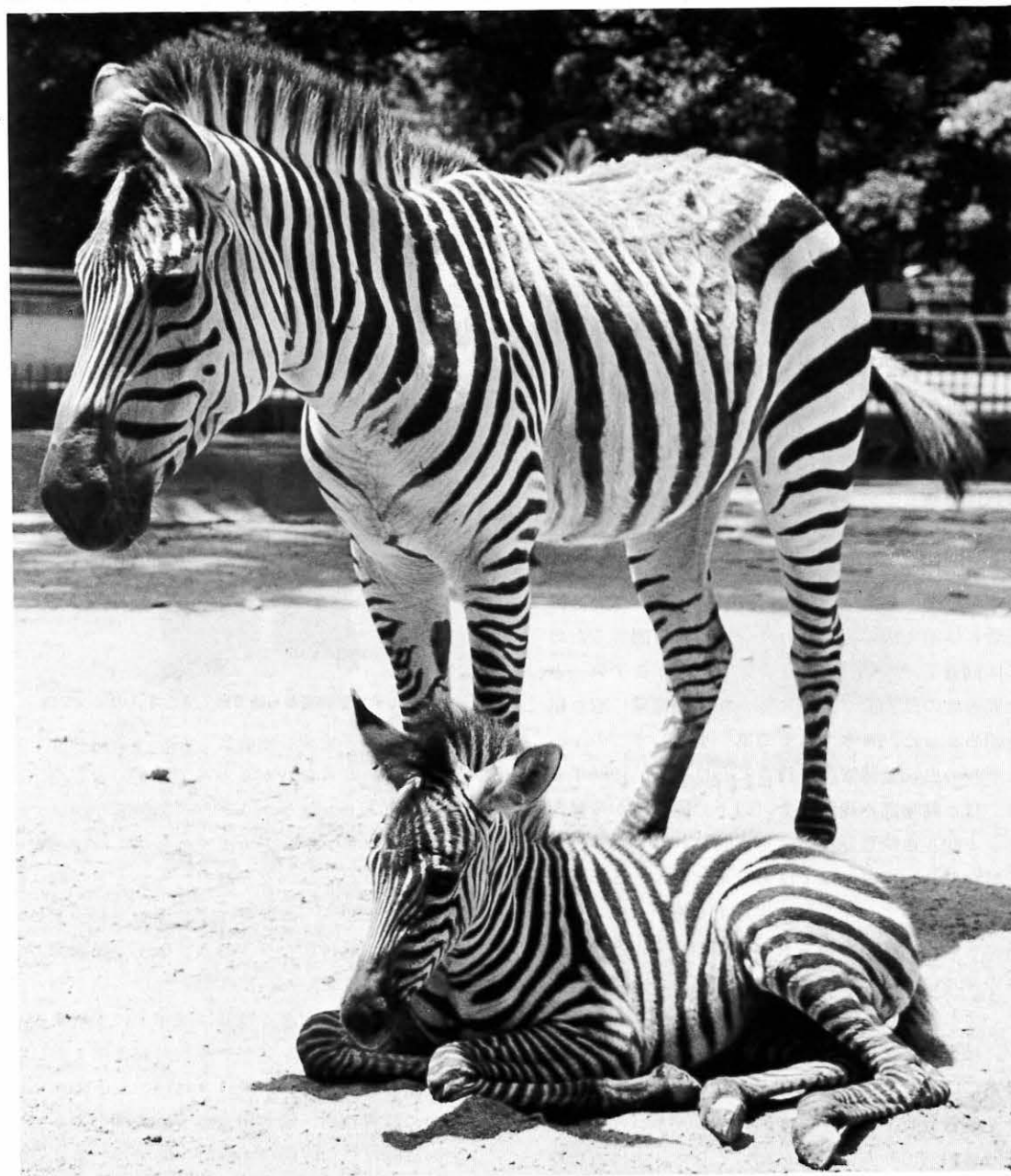
表紙の写真説明

“シマハイエナ”

(Hyaena hyaena)

インドから中東、アラビア半島を経て東および北アフリカと広く分布しています。主食は死肉ですが、昆虫や小型の動物や卵、時には果実を食べることもあるそうです。

(撮影：土谷 正道)



“グラントシマウマの誕生”

6月27日、久々にメスが生まれました。お母さんはキャンデイ、赤ちゃんはマサミといいます。非常に可愛いシマウマです。元気で育ってと暖かく見守っています。

(撮影：中垣 圭史)

なきごえ9月号もくじ
動物と私 2
“グラントシマウマの誕生” 3
第3回シオザル国際シンポジウムに出席して.....4-5
サマースクール感想文 6-7
動物園グラフ 8-9
キーパーズ・アイ 10
動物園ニュース 11

第3回シシオザル国際シンポジウムに出席して

1990年5月23～25日、米国サンディエゴ市で開催されたシシオザルについての国際シンポジウムに日本の代表として出席し、報告を行ってまいりましたので、日本におけるシシオザルの現状とあわせ、シシオザル入手までの経過とシンポジウムの概要をご紹介しますと思います。シシオザルはインドの南西部に生息するサルで、顔の周りの灰色の長い毛以外は、全身真っ黒の毛で覆われています。名前の獅子尾猿のいわれは、尾の先端がライオンのようになっていることから名付けられたものです。野生では10数頭くらいの群れで生活していますが、地球的規模での森林の伐採や乱開発はインドとて例外ではなく、また現地ではこのサルを食用にもしていたため、その生息数は激減していると言われています。

この危機を救うために1976年、国際保護動物に指定され捕獲、輸出は全面的に禁止、さらにインド政府の厳重な保護管理下におかれましたが、依然絶滅の恐れは消え去っていません。これを打開するためには飼育下での繁殖を向上させることがまず第一と、世界各地の動物園が真剣にその飼育、繁殖に取り組み始めました。日本でもその第一歩としてこのシシオザルの血統登録管理を行うことになり、1986年6月、日本動物園水族館協会（以下、協会）から私がシシオザル血統登録担当を委嘱されました。

私自身サルの専門家ではありませんし、このシシオザルについてもインドに生息する希少なサルというぐらいの知識しか持ち合わせておらず、とにかくこのサルについて書かれた文献の収集から始めました。それと並行して国内の飼育状況を調査しましたが、結果はまことにひどいもので、1986年12月現在日本には9ヵ所の動物園でたった17頭のシシオザルしか飼育されておらず、老齢のサルが多いうえに、繁殖適齢期のサルはオス7頭にくらべメスはたったの1頭と極端な嫁不足の状態でした。さらに、繁殖をしている唯一のペアは兄妹同士と、手の施しようもない状態でした。

この窮状を救うには外国から新しいシシオザルを導入する以外に方法はないと、米国の国際血統登録担当者であるシアトル動物園のグレッドヒル氏に連絡をとったのは翌年2月のことでした。日本のシシオザルのために新しい血の導入が図れないかというむしのよい相談にもかかわらず、彼の返事は好意的

で、シシオザル5頭を提供してもよいとの手紙を受け取ったのは、1987年11月でした。

日本でのすばらしい繁殖計画を作るうえで、この5頭をどのように組み合わせればよいのか、早速その作業にとりかかりました。5頭を数カ所で分散するより、1カ所で群れで飼育する方がよいように思いましたので、その計画案を協会に示し、種保存委員会の承諾を得て、シシオザルを提供してくれる米国の3カ所の動物園、シカゴ、サンフランシスコ、



セントルイス動物園から贈られてきたオスのマックス

セントルイスと交渉を始めましたが、英語を介してのため、なにしろ日数がかかってしまいました。途中でシカゴとサンフランシスコの動物園が提供できなくなり、ワシントンとカナダのウィニペグに変更になり、更にウィニペグが駄目になるなど二転三転するありきまで、一方、受け入れ側も当初予定していた動物園が駄目になり、急きょ天王寺動物園で受けることになりました。出す側と受ける側がやっと決まったところで次なる難関は法律上の手続きでした。シシオザルはワシントン条約付属書第1表に該当する希少動物だけに、受け入れ側のシシオザルについての飼育技術、飼育担当者、獣医師のサルについての経験年数、収容予定施設の概要など多くの書類提出が必要でしたし、法的な輸出、輸入の手続きにも時間がかかり、ワシントン動物園から先陣をきってやっとシシオザルが贈られてきたのは、今年の5月24日、実に交渉を開始してから2年半もの年数がかかってしまいました。ほっと息つく間もなく、第2弾としてセントルイス動物園から8月3日に2頭が贈られてきました。年内には第3、4弾が予定されており、米国からの繁殖協力のシシオザルプレゼントで、今年は賑やかな年になりそうです。

さてこの希少なシシオザルの飼育、繁殖、遺伝管理、野生調査など多くの議題を抱えたシンポジウムは、4年毎に開催されています。多くのシシオザル関係者が出席するこの場で日本の窮状を訴え、繁殖計画への助力を求めるのには絶好の機会であると以前から考えていましたので、主催者側からの公式招待状が届いたことに加え、協会からも派遣要請を受けたので、喜び勇んで米国へと向かいました。米国は9年前に4ヵ所の動物園を訪問して以来でしたので、この機会にシシオザルを飼育している動物園も訪問することにし、シンポジウムの開催前にシアトルのグレッドヒル氏を訪ね、今回いろいろご支援して戴いたことへのお礼を述べると共に、繁殖、展示ともすばらしいこのシアトル・ウッドランドパーク動物園を案内して戴きました。シンポジウム中にはこのシンポジウム出席者を対象としたツアーでサンディエゴ動物園の展示施設、サンディエゴ野生動物園の繁殖施設を見学する機会に恵まれましたし、シンポジウム後には時間をなんとかやりくりして今回日本への繁殖協力第1号を贈ってくれた国立ワシントン動物園へお礼に伺い、併せて飼育施設も見学させていただきました。それぞれの施設は噂に違わずすばらしいものですが、日本でも決して真似のできないものではありません。一番大きな違いは何といっても飼育頭数の違いではないでしょうか。各動物園とも10～15頭、サンディエゴ野生動物園の繁殖施設ではなんと30頭以上も飼育しており、繁殖計画を立てるにしてもこれだけ持ち駒が豊富であればかなりの手が打てるというものです。日本では2頭単位が多く、しかも動物園間で繁殖のために自由に交換できる体制にはなっておらず、繁殖計画を軌道に乗せるためにはまだまだ時間がかかりそうです。

さて、シンポジウムでの私の出番は2日目の朝でした。「日本におけるシシオザルの現状」と題し、30分間、スライド11枚をまじえて英語で発表しました。この発表に続いて6人のパネラーの一人として30分間、壇上でパネルディスカッションに加わりましたが、日本ではこの4年間にシシオザルが17頭から29頭に増えたにもかかわらず、増加した半数以上が動物業者を通じての輸入で、これが一種の違法であるときめつけられました。シシオザルのような希少なサルは動物業者を通じて売買を行うべきではないというもので、私も壇上、返す言葉もなく会場内唯

一の日本人の悲哀を味わいました。

さらに動物業者から購入する動物園も悪いが、動物業者に売る動物園の方がもっと悪いと、最後はその傾向が一番強いカナダのウィニペグ動物園が槍玉にあげられてしまいました。単に懇親だけの集いではなく、真剣にシシオザルを考えている関係者の集まりであることがこの一事をみてもお分かりいただけるでしょう。

発表もパネルディスカッションも緊張していたためか思ったほど疲れませんでした。3日間の会議中、時々話題が日本に関係のあることになる座長が客席の私に「ミノル！」と呼びかけて意見を求めるの



セントルイス動物園から贈られたメスのソフィとワシントン動物園から贈られたメスのアンジャナ(右)のグルーミング

には閉口しました。居眠りもできず、かといって3日間にもわたって集中力を持続させる能力もなく、最終日の午後はさすがに疲労の極みに達してしまいました。しかしおかげで北米、欧州の動物園関係者や大学の研究者と親交を深めることができたのは、大きな成果でした。またこれにより日本への理解、協力が一層深まれば、日本でのシシオザルの繁殖計画も一層の前進をみせることでしょう。

最後に、今回の出席にご助力を賜った日本動物園水族館協会並びに天王寺動物園協会、さらにご協力頂いた職場の諸氏に誌面をお借りして深謝致します。

(飼育課：宮下 実)

シシオザル・アラ・カルト

日本での飼育数	1990年8月5日現在オス16頭メス14頭(世界の動物園では約500頭)
野生での生息数	昨年までは400頭以下といわれていたが、最近の調査では約4000頭といわれている。

第16回サマースクールも7月24日～29日の間、盛況のうちに終了しました。今回は第1組に参加した4名の生徒と引率指導に活躍した2名のボランティアの感想文をご紹介します。

並河とし

日が長くなり、日毎に暑くなるとサマースクールの時期が今年も近づいていました。動物に触れることの多い我が班では、辞典を見たり、学校で習うことよりも動物の温かき、匂い、力強きなどテレビでも見れないことを知ってほしいという点から準備が進められました。7月24日、いよいよ当日です。緊張した顔が並びました。まずカバ舎からです。カバ舎では放飼場へ立ち入り、カバを目の前にしました。1mぐらいしか離れていない所で口が大きく開いています。その後すぐ、子供達に感想を書いてもらいました。1人のテキストの中は、「このカバをみてとてもびっくりしました。カバの鳴き声も大きいし朝より夜の方がしょくよくあるからです。カバの口はにげんより何倍もあくのどとてもびっくりした。みんな、かざる言葉のない心のままの文章でした。こういう気持ちをいつまでも大切にしたいと思いました。そしてこの興奮の続く中、次はヒツジの毛刈りです。私達より危なっかしい手つきで少しずつつヒツジが真白に変わって行きます。傷つけないよう恐る恐るでした。刈った毛をテキストに貼りつけ、全部持って帰る子もいました。毛刈りは子供にとって大変興味深かったようです。ウサギでは小屋の敷ワラを全て換えるため、自分ぐらいの大



ヤマアラシへの給餌

きなスコップを持ち、初めその上にワラが少しだったのが時間がたつごとにたくさんワラがその上にのっていきます。自信というのはこういう所から生まれるのでしょうか。そして足元にはウサギやモルモットがはね回っています。「はいはい邪魔だからあっちへ行って」とやさしくウサギを追いやる子を見ているときと家では……なのでしょう。2日目のクマ舎寝室の掃除は動物を飼育するという大変な仕事の1つを体で感じてくれたと思います。オランウータン、チンパンジーは間近で手足などの違いを観ることができました。それぞれの住み家にあった体・毛・動きをしていることを観て、それぞれの生活を考えてくれれば、と思いました。ここに来る子供

達は“最近の子供は”と言われている中、元気の良い子ばかりでなんだかほっとします。けなげに生きる動物達と、子供達のイキイキした目に出会うたび、このサマースクールに感謝しています。

(大阪動物園ボランティアズ14期生)

高田桃子

初めてのサマースクール。やって来た子供達に会って内心ほっとした。何故って、私はまだボランティアに参加するようになって4ヶ月しかたっていない新米だし、引率するのも初めてだし、担当するのは小学5、6年生できっと大人びてるだろうと思ってたから。「本当に大丈夫かな…?」

けれど、女の子6人、男の子3人の計9人の子供達は、皆いい意味でまだまだ子供。「よーし、テキスト通り『教える』というより、皆と同じ年位の気



ダチョウのヒナを観察

持ちに戻ってお話していこう」と思ったのだった。さて、スタート。皆の気持ちを大切にしたい。だから、それぞれに話してもらおう。話始めると1人1人個性が違う。ずっとしゃべり続ける子、しっかり勉強しようとする子。少し詳しいもの知り博士。おとなしくてあまり話してくれない子など、いたけど、家に帰ってお母さんに色々報告してくれたりするといいな思う。

感心したのは、子供達がストレートに感情を出すこと。「へビはキライ」だけど「触ってみたらおもしろい」でも「やっぱり、キライ。」

質問も妙なことにこだわる。「何でこの動物はこのエサを食べるの?」何でって言われても…。だけど、こんなところが意外と大切なかもしれない。色々な事にこだわりをもって、もっと勉強して、来年はもっと沢山のことを教えてあげたいと思う。皆もまた来てくれたらいいなあ。

この2日間はとても暑かった。だけど子供達は暑さ以上に元気一杯。一体全部でいくつあるのかわからない程の将来の夢を聞かせてくれた子。愛情表現の裏返か、何度もたたいてきた子。言うことをちっとも聞かない子もいたかな。皆に負けじとがんばって!!、とても疲れたけど、終了式では皆「楽しかった」と言ってくれたので、「あー良かったあ」と一安心。

私自身普段めつたに行けない調理場や獣舎へ入れて勉強になりました。

皆さんも本当にお疲れ様でした。

(大阪動物園ボランティアズ15期生)

1組3班 白水 徹
(堺市立富山台小学校5年)

むねをわくわくさせて、天王寺動物園に向かうと、とてもさわやかな声でみなさんがむかえて下さって、ほっとしました。今まで何度も動物園に行ったことはあるが、今回は、なんだか今までとちがって、「今から仕事をするぞ!」と、いう気持ちでいっぱいでした。いつもは、おりの回りから動物を観察することしか知らなかったけれど今日は裏に回って見るといろいろな仕事をしていることを知り動物を育てるのはたいへんだなと思った。

動物は自然が基本で、調理する時も自然のままです。一切煮たり、焼いたり、いためたりはしないということを知りました。サル仲間でも種類によって好みがちがうので、はあくしてエサをあたえたり、弱肉強食になると、弱者がうえ死にするので、大きなエサを与えないで、小さくして大量に、全員に与えられるように工夫されていた。



サイの角を触察

動物園の仕事は、とてもたいへんな仕事だけど、動物たちの性質を知るととても楽しくて、いちだんと、動物園が楽しくなるような気がします。将来動物にたずさわる仕事をしてみたいと思います。

1組1班 中路 美咲
(八尾市立志紀小学校4年)

わたしは、サマースクールでどんなことをするのかと少し心配してました。

はじめにとらの運動場のそうじをしました。はじめどうしてそうじをしたらいいのかわかりませんでした。でもどうにかそうじができました。けどとらのしいくがかりの人にまだきかないとしかられませんでした。けどおじさん一人であんな大きい運動場をそうじするのは、たいへんだらうなとおもいました。おじさんは、カギに命をかけていると聞いていました。わたしもカギをかけわすれるとたいへんなことになるなと思いました。

次にアシカの所にいきました。アシカは、大声で「オッオッ」とうるさかったです。アシカの赤ちゃんはかわいかったです。

次にサイをみにいきました。サッチャンはこっちはきてくれたけど、トミーはきてくれませんでした。サッチャンがあつそうだったので、しいくがかりの人は、水をかけてやりました。わたしはサイの角をさわりました。ちょっとざらざらでした。

しいくがかりさんみたいへんだったと思います。わたしのゆめは、しいくがかりになることです。サイ、アシカ、トラのしいくがかりさんのように、やさしくて動物にすかれるようなしいくがかりになりたいです。今日はとてもたのしかったです。明日もがんばります。

1組6班 杉田 伊知子
(大阪市立鳴野小学校6年)

サマースクールに申し込みが多かった中から当たったのでうれしかったです。天王寺動物園に来たら前とすごくかわってました。そこには色々な動物がいました。わたしたちが見学しにいった所は鳥、ぞう、えきをつくっている所、植物温室などいっぱい見学にいきました。映像館では映像を見て楽しかったです。すごく大きかったのでもるのみこまれそうでした。本当に雪の上や野原の上を歩いているような感じがしてきました。コアラを見たり、色々な種類の鳥を見ました。

コバタンという鳥はくちばしをけがしているため、上のくちばしだけで下はペロになっているのでさわってもかまれたりしなかったのわたしはすごいかわい鳥だなあと思いました。でもコバタンのえきの食べ方は少しおもしろいなあと思いました。コバタンは太く切ったパンをあげると足を使って食べるところがおもしろかったです。また明日も元気に天王寺動物園に行きたいです。

1組3班 西尾 佳織
(堺市立東浅香山小学校5年)

わたしは、サマースクールに入ってよかったなと思いました。なぜなら、ふだん見に行けない所やえきの調理をしたりできたからです。わたしは、とても動物が好きです。ようち園の時も、うさぎごやに入って、うさぎをだっこしたりしていました。わたしは、今日、えきをあたえるさるの名前のくじをひくとき、「さるが今いる所にさるのかな。かまれないのかな。」と、心配していたけれども、ちがう所にいれるので安心しました。わたしは、「さるって、くだもの多くて、やさしいは少なくていいな。わたしよりたくさんごはん食べよう。」と、思ったりしました。わたしたちが調理をしたものを紙を見てはここにいている時、いろんなさるが、なっていました。わたしは、アジルテナガザルのえき入れでした。

植物温室を見学した時、れいぼう室で育てているベゴニアがあったので、なぜかと思っていましたが、説明してくれたのでとてもよくわかりました。

わたしは、1日しただけでもしんどくて、たいへんだったけれども、毎日している人のことを考えると「たいへんだな」と、思いました。とても、楽しい日でした。

動物園グラフ

“サマースクール開校”

毎年恒例のサマースクールに小学生177名が参加しました。普段経験できないことにみんな興味津々でした。

(撮影・構成：竹田正人)



サマースクールの受付はこちらですよ〜!



ちょっと危なげな手つきで餌作り



さて、このダチョウのヒナの体重はいくらでしょう。



ワァー!!カバの口って大きいんだ



フタコブラクダのコブの中身はなんでしょう。

6・7月の動物園日記

- 6/29. 6/27生まれのグラントシマウマの性別が雌と判りました。
- 7/1. 天王寺公園の夜間開園が始まりました。
- 7/2. カモシカ園でエランドが1頭生まれました。テグーを1頭保護しました。
- 7/4. 6/26ふ化したダチョウを展示しました。コアジサシのヒナを1羽保護しました。
- 7/5. ソロモン諸島国の海洋資源大臣ほか3名の方が来園見学されました。クロサイの交尾を初めて確認しました。オランウータンのサブが下痢をしたので投

- 薬を開始しました。
- 7/6. 沖縄こどもの国の職員の方3名が来園見学されました。
- 7/7. 今季7頭目のニホンザルが生まれました。人工育雛中のファンボルトペンギンのヒナに豆アジの給餌を開始しました。
- 7/8. 仔タヌキ1頭、ヒヨドリ1羽、ゴイサギ1羽を保護しました。
- 7/9. 釣針を誤嚥したカモメを1羽保護しました。
- 7/10. 今季3羽目のダチョウがふ化しました。今季5頭目のニホンジカが生まれました。
- 7/12. 今季6頭目のニホンジカが生まれました。
- 7/13. グリーンイグアナを1頭保護しました。



ヒツジの毛刈りって難しいなあ



「そんなに見つめられるとミナミ恥ずかしい」



初めて触れる、食虫植物にみんなおっかなびっくり。



植物温室で説明に聞き入る生徒達



「サマースクール修了おめでとう!」と所長さん

- オランウータンのサブの下痢が治りました。
- 7/14. アブラコウモリの仔を1頭保護しました。
- 7/15. 第63回動物のお話とスライドの会「アシカのお話」を開催しました。
- 7/16. 6/20に生まれたヒョウの赤ちゃんに予防注射をしました。
- 7/17. 7/9保護したカモメの手術を行いました。
- 7/18. ゴイサギ1羽、キジバト1羽、ドバトのヒナ2羽、クサガメ1頭を保護しました。
- 7/19. 人工育雛中のファンボルトペンギンのヒナの食欲が落ちたので冷房室に収容しました。
- 7/20. 今季最初のレアが1羽ふ化しました。ハクビシン(頭数不明)が生まれました。

- 7/21. ホッキョクグマに氷柱をプレゼントしました。
- 人工育雛中のファンボルトペンギンのヒナの食欲が回復しました。
- 7/22. キョンが1頭生まれました。
- 7/23. キーウィの体重測定を行いました。
- 7/24. 第16回サマースクールを開校しました。メルボルン市長ほか2名の方が来園見学されました。
- 7/26. 今季2羽目のレアがふ化しました。
- 7/28. 姫路市立動物園の職員の方がサマースクール見学のため来園されました。
- 7/29. サマースクールが終わりました。

☆ セイランの繁殖について

「鳳凰」と言う架空の鳥は、皆さんご存知だと思います。平等院の鳳凰堂はあまりにも有名ですが、この鳳凰のモデルとなったのがセイランと言われている。生息地は、スマトラ、マレー半島です。

当園では現在1ペアを飼育していますが、本年3月30日に1卵目を産卵したので人工孵化させました。その後、4月25日に3卵目を産卵するとすぐに抱卵に入りましたが何と2卵のうち、1卵がほったらかしでした。そこで出来るだけ2卵とも孵化して欲しいという気持ちから、卵を巣内に入れましたが翌日から抱卵しなくなり大失敗。結局人工孵化に切り換え孵化させました。そして再度産卵、今度も1卵はほったらかしでしたが、気にせず放置すると、6月14日にうまく孵化し、かわいいヒナが誕生しました。うれしいことに、これは日本におけるはじめての自然ふ化です。ところが、父鳥が「ヤキモチ」をやき



可愛いセイランの母子

はじめ母鳥とヒナを攻撃する様になりました。そこで、父鳥を別居させたとこ、以後は母鳥も落ちついて育雛にはげむようになりました。

それにしても困った父鳥ですね。

(飼育係員：西田 俊広)

☆ フンボルトペンギの飼育について



可愛いフンボルトペンギンのヒナ

フンボルトペンギンは、自然では非常に生息数が減りつつあるペンギンです。天王寺動物園では4羽を飼育し、産卵、孵化、成育したこともあります。

今年も産卵が見られ、5月21日に元気なヒナがふ化しました。しかし今年は、6月中旬から暑い日が続いたせいか、ヒナの成長がおもわしくなく、ヒナが暑がるせいか、巣箱からよく出るようになりました。親も心なしか元気がないようにみえます。

体重もあまりふえないので6月25日に人工育雛に切り換えました。今までは、親からエサをもらっていたのに急に人間からエサをもらうようになり、なかなかうまく食べてくれませんが、アジをミンチ状にし、カテーテルと注射器で強制的に与えました。少しずつですが食欲もでて、2日後位から体重も増え、1回30分位ずつ運動と日光浴をかね1日3回程度の散歩をさせました。エサもよく食べ7月に入ってから体重も1日当り30~50gずつふえ、7月中頃は100gずつふえていきました。この頃より小さなアジ(5cm位)を食べるようになり、今では体重も1日100g程ふえ約2kg近くなりました。まだ綿羽につつまれ水の中には入れませんが、もう少しすると徐々に親ばねに変ってきて水中をスイスイと泳ぎまわることでしょう。(飼育課次席主任：山田 茂)

§ コアラネーム決定

5月25日から1ヵ月間にわたり、オーストラリアのメルボルン動物園から4月25日に来園した3頭(オス1頭、メス2頭)のコアラの名前を募集していましたが、それぞれ「ハク(オス)」、「ハナ(メス)」、「ミドリ(メス)」に決定しました。

応募総数は5443通にものぼり、応募されたハガキのうち、3頭とも、コアラから連想された名前なのが508通、花の万博から連想されたものが44通ありました。

これらの応募のうち、コアラ3頭の名前は、今年大阪で開催されている花と緑の博覧会に因んで決定されたわけです。

今回は、北は北海道や秋田県、南は九州の福岡県や鹿児島県など遠方の方々から多数の応募がありました。

§ ホッキョクグマに氷柱のプレゼント

毎年恒例のこの行事は、大暑の日と決まっていますが、今年は、その日が休園日とかさなつたため、2日前の7月21日に実施しました。1本135kgの氷柱2本のプレゼントに、ホッキョクグマの「ユキオ」と「ユキコ」は東



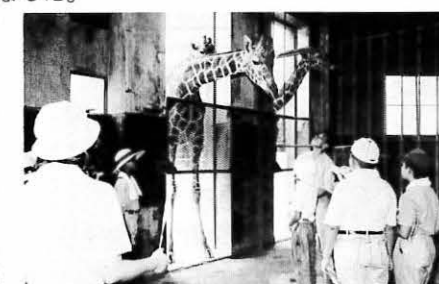
氷で遊ぶホッキョクグマのユキコ

の間の涼を楽しんでいました。

§ サマースクール開催

第16回サマースクールが、7月24日から29日の6日間にわたって開かれました。今年は定員180名のところ675名の応募があり、競争率約4倍の狭き門となりました。

小学生4~6年生が対象となっているこのサマースクールは、第1組7月24・



キリン舎寝室に入って飼育担当者から説明をうける生徒たち

現在の飼育動物数 (平成2年7月31日現在)

哺乳類	13目	95種	457点
鳥類	20目	183種	787点
爬虫類	3目	32種	66点
合計	36目	310種	1310点

25日、第2組7月26・27日、第3組7月28・29日と各組60名ずつに分けられ、さらに各組は10名ずつ6班に分けられました。

生徒たちは、動物舎の清掃や餌の調理、給餌、動物の観察などや、今回から新たに始まった天王寺公園の植物温室見学・映画鑑賞も行いました。

§ ペンギンの人工育すう順調

5月21日にふ化したフンボルトペンギンのヒナが両親から見捨てられ、動物病院にかつぎ込まれたのは6月25日、当時は痩せ細り、立つこともできないほど衰弱していましたが、今では飼育担当者じきまの給餌により、栄養状態も回復し元気良好です。

当初は、アジをすり身にしたものにも水を加えて流動食にし、先端に軟かい管(カテーテル)をつけた注射器で直接のどの奥に入れてやっていたが、



魚の流動食の給餌を注射器によってうけるフンボルトペンギンのヒナ

7月7日からは、6cmほどの小アジと流動食を併用して与え10日からは小アジ丸

のままを与えるようにしました。入院当時、35日齢のこのヒナは、正常ならば体重は1kgほどはないとだめですが、わずか563gしかありませんでした。その体重も7月31日現在2250gとなり、小アジも1日に45尾、450gも食べるようになりました。

現在、ペンギン舎の冷房室にて、飼育箱内で飼育しています。朝夕の給餌の時間には少しそのヒナを見ていただけることでしょう。

● お知らせ

動物ウォッチング

11月18日(日) コアラウォッチング

12月16日(日) 動物園裏側ウォッチング

時間：午後1時~2時

場所：コアラウォッチングはコアラ舎前。

裏側ウォッチングはレクチャールームから出発

● テレホンサービス実施中

催し物、トピックスなど魅力たっぷりの動物園の案内を、24時間テレホンサービスで行っていますので、ぜひご利用ください。

電話番号 771-9999

* 休園日のお知らせ *

動物園の休園日は毎週月曜日(休日の場合は翌日)です。

開園時間は午前9時30分から午後5時までで、午後4時まで入園できます。

愛ある暮らし、応援します。

Kintetsu

近鉄百貨店

DEAR LIFE BOOKS



生態・飼育・図鑑が一つの本の 中にギッシリ

中川道朗・岩合徳光／監修
B5変型判・オールカラー
定価580円

動物園で暮らす様々な生き物達、
自然の中ではどんな暮らしをして
いるのか？ 動物園での世話
の仕方は？ 仲間とは？ など、
写真と精密イラストをまじえ紹
介します。

くらしとかいかたシリーズ<既刊本>
B5変型判・オールカラー・各定価580円

むしくらしとかいかた

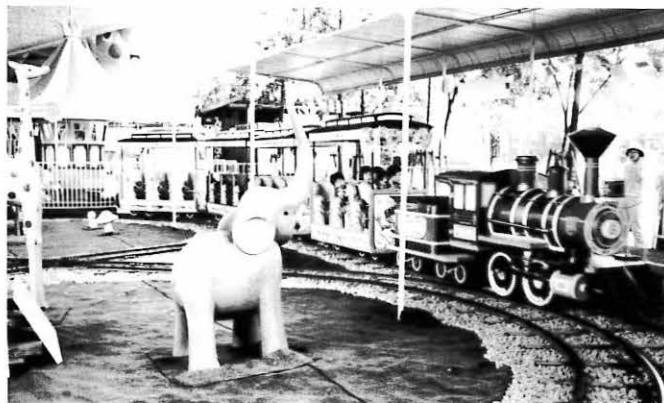
野山でみかける身近な昆虫たち
250種を紹介。

ちいさないきものくらしとかいかた

昆虫以外の小さな生き物を320
種紹介。

お求めは、お近くの書店で。 ひかりのくに株式会社 本社／〒543 大阪市天王寺区上本町3-2 ☎06-768-1151代表

たのしいのりもの、が待っています。



1人1回
100円
(1才まで無料)

団体割引
(30人以上)
……1割引

久竹娛樂株式会社
TEL(06)541-3938(代)

◎園内3ヵ所(南園入口横、北園ステージ横、北園高架下)に各種のりもの、があります。

オートフォーカスカメラに

フジカラー SUPER HG 400

ピントが合いやすいフィルムです



カラの大林

桜橋本店 ☎341-8091
三番街店 ☎372-5031

全国の愛犬家の共感を呼ぶ無比の愛犬歌集

絶賛四版

歌集 犬の歌

平岩米吉著

著者が、約四十年の間に、共に暮らした七十余頭の犬の生と死
を歌った四百十九首を収録。同時に、その誕生より老齢に至る
写真四十七図を収めた、犬の一生の生態写真集でもある。

天金・美装箱入
B6判・270頁
3000円・〒不要

《感動の言葉》

- ☆ この歌は愛犬と異体同心の境地である。(英文学者)
- ☆ 人として注ぎ得る愛情の極致を示している。(動物研究家)
- ☆ 一首ごとに、ことごとく魂にひびく歌です。(動物愛護家)

●本書は、書店ではお買い
求めになれません。
直接当会へお申し込みく
ださい。

〒152/東京都目黒区自由が丘3-12-2 動物文学会 電話(03)717-1659/振替・東京5-9800

新作

貸出用ビデオ「楽しい天王寺動物園」
19分(10本常備)

- 対象／保育園・幼稚園・小学校の先生
- 貸出期間／10日間
- 貸出料／無料(但し郵送料480円は必要)
- 申込先／当協会まで手紙かハガキで
お申込下さい。

コアラテレホンカード(限定販売)
好評発売中 ¥800(50度用)

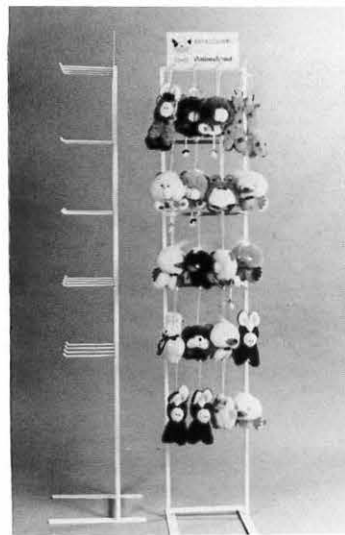
天王寺動物園の本

入園の記念・手引に……



オールカラー
500円 園内売店にあります。

大阪市天王寺動物園協会 〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74 ☎(06)771-0201

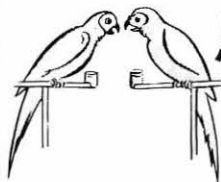


動物ぬいぐるみは 子供のゆかいなお友達

各種ぬいぐるみ企画・製造・卸

有限会社 **アニメランド**

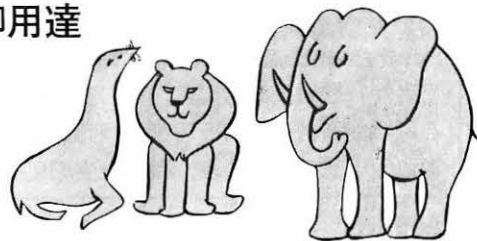
〒547 大阪市平野区西脇4丁目5番22号
TEL: (06) 704-8580
FAX: (06) 704-8565



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券250円

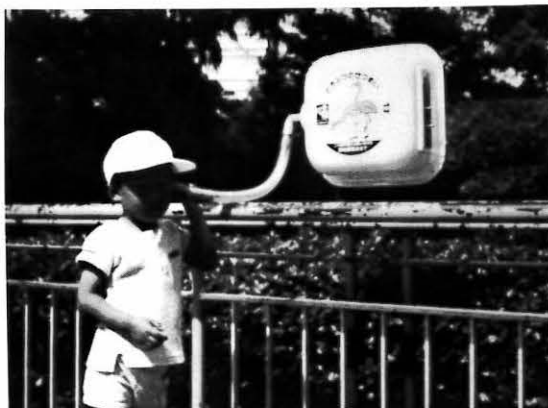


有限会社 **吉川商会**

本社 神戸市中央区中山手通3丁目11番4号
飼育場 兵庫県小野市来住町1513番地

電話(078)221-8195(代)

たのしい動物のお話は、
ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!



園内、主要動物舎
30数カ所にあります

関西特機株式会社
電話 06-762-2333
1回 20円

動物園内での お食事、ご休憩は

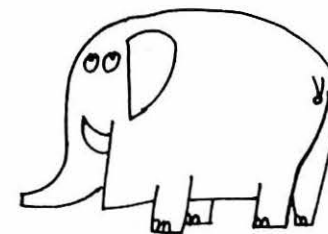
大阪市天王寺動物園内

中央売店

☎ (06) 771-0973



天王寺動物園内

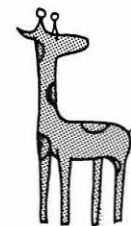


南園売店

大阪市天王寺区茶臼山町6-74
電話 (06) 771-7110番

園内での写真は…

動物園協会指定写真部へご用命下さい!!



◎随時係員が待機して
おりますのでご説明
に伺いました際は、
よろしくお願ひ致し
ます。

カラー写真 キャビネ1枚 500円

撮影無料にてキャビネ1枚をサービスさせていただきます。
撮影予約も受付しておりますのでご連絡下さい。

国際航空写真株式会社
TEL 06-856-7444



雪印乳業

唯ちゃんも、
とってもゼリーも、
ますます成長しました。



浅香 唯

フルーゼリー とっもゼリー



とっもオレンジ

とっもピーチ

とっもキウイフルーツ

とっもグレープフルーツ

とっもマスカット

とっもパイナップル

野生動物をみんなで守ろう

WE SUPPORT WILDLIFE!

天王寺動物園協会の売店に“WWF国際保護動物ぬいぐるみコーナー”が新設されました。このぬいぐるみの売上げの一部はWWFJ(世界野生生物基金日本委員会)に寄付されます。すばらしい野生動物を私たちの手で大切に守りましょう。

ぬいぐるみ販売コーナー新設

お申込み、お問い合わせは——

社団法人 大阪市天王寺動物園協会
(天王寺動物園内) TEL (06) 771-0201

株式会社 ファミリア商事部
TEL (078) 321-0345

●お電話でのお申込みは動物園協会まで。
なお、郵送の場合は実費を負担していただきます。



●WWF(WORLD WILDLIFE FUND)とは?
世界野生生物基金。世界中の危機に瀕している動物たちと、その自然環境を保護するための機関です。



なきごえ 1990年9月10日発行(毎月10日発行)第26巻 第9号 (通巻301号)

編集 / 大阪市天王寺動物園
発行人 / 大阪市天王寺動物園協会 橋本一郎
印刷所 / 株式会社 松村善進堂 定価150円(送料共) 1年継続(12部) 1,650円(送料共)

〒543 大阪市天王寺区茶白山町6-74
電話 大阪 (06) 771-0201
振替口座 大阪 3-37823

編集委員 (伊東重朗 / 大西史朗 / 藤野勝吉 / 中山良三郎 / 中川哲男 / 吉本昌俊 / 奥上 昇 / 大谷直樹 / 宮下 実 / 長瀬健二郎 / 榊原安昭 / 森本委利 / 竹田正人 / 大野尊信 / 野口秀高 / 早川 篤 / 赤松 建 / 中垣圭史 / 大川光雄 / 土谷正道)